

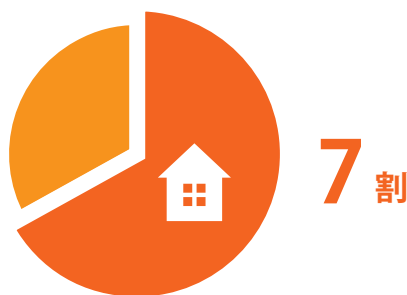
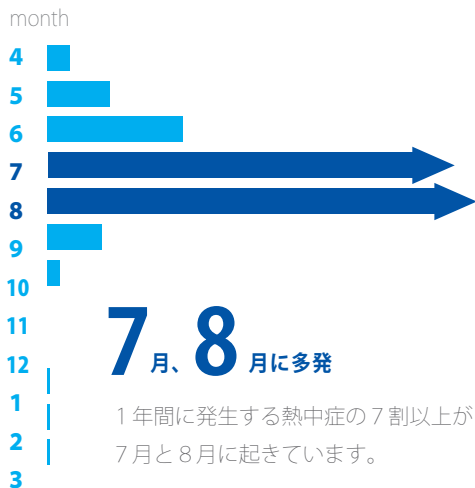
STOP 熱中症

©Anicom Holdings,

アニコム 熱中症



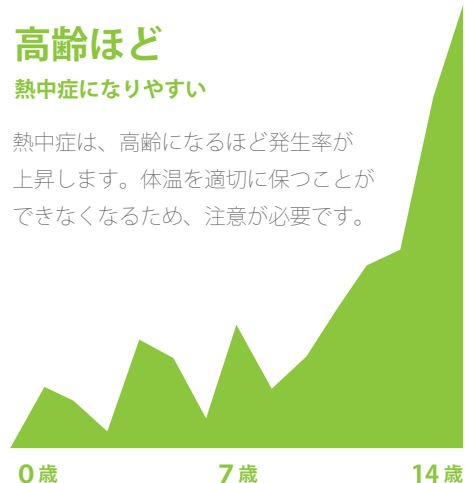
アニコムは、熱中症予防のため様々な活動を行っています。



熱中症の約7割は、自宅内で起きています。クーラーのつけ忘れや、お水の入れ忘れなどが主な原因です。

高齢ほど 熱中症になりやすい

熱中症は、高齢になるほど発生率が上昇します。体温を適切に保つことができなくなるため、注意が必要です。



家族みんなでSTOP 熱中症

熱中症は確実に予防できる病気です。なぜなら飼い主がちょっとした気配りをするだけで防ぐことができるから。例えば、お留守番のときは冷房をつけて出かける、お散歩は早朝に行く、ドッグランで運動をさせすぎない、肥満に注意する、いつも新鮮なお水が飲めるようにする、車内に放置しない、そんな気配りができるだけで、熱中症は防げます。

とくに、短頭種（パグやフレンチブルドッグなどの鼻ぺちゃ犬）や高齢犬、持病のある犬（心臓病や呼吸器病、脱水しやすい病気）では注意が必要です。

それでも熱中症になってしまったら、様子見は厳禁です。すぐに動物病院に連れて行きましょう。もし余裕があれば、車に乗せる前に水をかけたり、移動中は保冷剤で首やワキ、ソケイ部（足の付け根）を冷やすなど、応急処置をしてください。

熱中症はひとりだけで防げるものではありません。家族みんなの協力が必要です。合言葉は、「家族みんなでSTOP 熱中症」。この夏、熱中症には十分すぎるほど気をつけましょう。

82%

8割以上

「暑さに弱いと知っていた」

8割以上の方が、犬が暑さに弱いことを知っていたにも関わらず、熱中症を起こしています。